

### 愛の血液

#### 助け合い運動

「あなたのご家族ではもうどなたか献血をすまされていますか」  
今月は「一家にひとり1年に1度は必ず献血を——」を合言葉に愛の血液助け合い運動が県下ですすめられています。

最近では交通事故や病気などで使う血液は年々ふえています。日頃健康であって献血に関心を示さない人でも、本人や家族で血液を必要とする場合が多く、その時になってあわてて相談しているようです。  
私たちが万一の場合にそなえて家族ぐるみで献血に参加しましょう。

## 夏休みを迎えるために

### 節度ある生活設計を

▼何よりもかけがえのない子どもたちの生命を守ろう。  
夏休みには、長い休みで気がゆるんだり、生活が急に変ったりするために子どもの事故が多く発生します。ことに、夏は戸外の季節です。川や海、プールにと水に親しむ時間も長くなると思いますが、水の事故に特に気をつけたいものです。水難事故のみならず、交通事故その他の災難のため、尊い生命を失うことのないよう十分すぎるほど気をつけましょう。

▼節度ある生活設計と体力づくり  
夏休みは、学校にいるときのように生活を規制するものがないため、ついだらしない生活をおくり、生活に節度をつたり、鍛錬のしすぎでかえって疲労し、健康を損じるといふことがあります。

従って、早寝早起き、すい眠時間の確保、適切な休養など、家庭生活に節度をつけ、健康の維持に留意することなどに気をつけたいものです。

また、のびのびとした生活の延長が続いて、新学期を迎えるに不適な状態になっている場合もままありますので、子どもの健康管理、節度ある生活リズムの維持に留意しましょう。休みも終りに近づくと、生活調整がとくに大切です。

た、胸を張って答えることができないような学習も、子どもの人生にとってはいへん大切なこととす。

休み中は、子どもは家族集団の中に帰ります。家庭は互いの努力で維持されている、両親の労働によって生計が営まれていることなどを教えることは、とくに大切なことです。年齢相応に、家庭、社会への奉仕、また両親の働く努力などを手伝いの中や、夕食後の話し合いを通じて理解させたいものです。

家族間の親和と対話の姿勢をこころに確立させましょう。

### シリーズ⑥ 南国市の農業

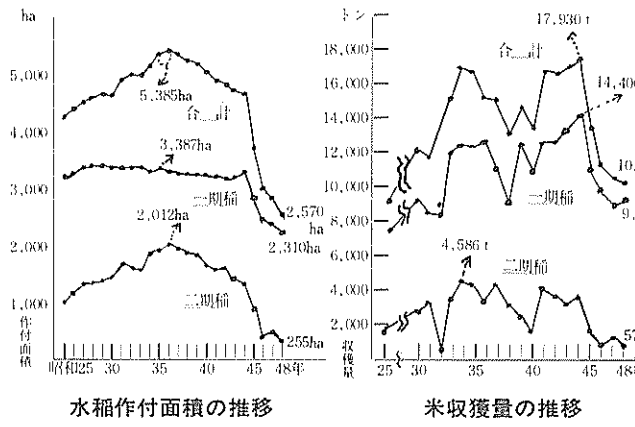
#### 主要農作物の生産の動向

#### 米の二期作は潰滅状態

米は前にも述べたように生産調整を境に作付面積、収穫量とも激減しましたが、これを二期作、二期作に分けて見ると、それぞれ生産の動向に相違が見られます。

一期作の場合、昭和二十八年頃から生産調整が始まった四十四年まで、三千三百ha前後のほぼ一定した作付面積で維持されてきました。しかし、これも四十四年を境に減少の一途であり、四十八年にはピーク時（面積では三十五年の三千三百八十七ha、収量は四十四年の一万四千四百一十一・二四万俵）の七割足らずになってしまいました。

影響を受けやすいいたる年々の変動が大きく、一概に言えませんが、面積で三十六年の二、千二ha、収量が三十四年の四千五百八十六、一約七万六千俵をピークに、それ以前は漸増、それ以後は漸減の傾向でした。生産調整の影響は二期作にさらに著しく、四十八年の作付面積は二百五十五ha、ピーク時のわずかに一割弱となり、いまや南国市の農業を象徴した米の二期作はまさに潰滅状態にあるといえましょう。二期作の復活は食糧の増産、農地および農機具の有効利用などの面から必要不可欠なことです。そのためには作付けに見合うだけの米備の獲得、あるいは成苗用田植機の開発などが望まれるところとす。なお休耕奨励金が打ち切られた四十九年には四十八年より五十haほど増加しています。



二期作の場合、昭和二十八年頃から生産調整が始まった四十四年まで、三千三百ha前後のほぼ一定した作付面積で維持されてきました。しかし、これも四十四年を境に減少の一途であり、四十八年にはピーク時（面積では三十五年の三千三百八十七ha、収量は四十四年の一万四千四百一十一・二四万俵）の七割足らずになってしまいました。

### 検診 心臓病の無料検診

心臓病の無料検診が七月二十日（午前十時から午後三時まで）、乳幼児を対象に市中央公民館で行なわれます。

これは、全国心臓病の子供を守る会、高知県支部が心臓病で苦しんでいる子供たちを早く見

### 回収 農業用廃プラスチック類の回収

ハウスのほりかえのため廃プラスチック類を処理する時期となりました。南国市協議会では、廃プラスチック類の回収処理期間を定め、次の要領で処理することになりました。

▼農家は塩化ビニールとポリエチレンを完全に区分し、廃プラスチック類に付着する木片、金属やビニール以外のテープなどの混じりものを除き、塩化ビニールは二十センチ程度に梱包して定められた集荷場に運搬集積してください。なおマルチなどにも使った土砂付と比較的新しいも

つげようとするもので、当日は福森重剛（高知市民病院）、藪吉博（日赤病院）の両先生が検診にあたります。また、例会と医療相談所も設けられていますので多数おいでください。

### 請求 特別弔慰金の請求は

戦没者などの遺族に対する特別弔慰金が次のように支給されます。

（1）前回の支給の対象は——  
（2）昭和三十六年四月一日以後の死亡した人の遺族につきの人。  
五十年四月一日までに遺族援護法の規定による弔慰金の受給権を取得した人であって、遺族年金などの受給権を有する人がいたが、四十七年四月一日から五十年三月三十一日までの間に失権し、五十年四月一日において遺族年金などの受給権がない人、および四十七年四月二日から五十年四月一日までの間に弔慰金の受給権のみを取得した人。

農林園芸課

までの間に遺族年金などの受給権者がすべて失権し、五十年四月一日において遺族年金などの受給権者がいない人。  
その他、以上の(1)、(2)、(3)にあげた人が五十年四月一日において欠格条件に該当したか、あるいは死亡している場合の転給遺族。

特別弔慰金の額は  
特別弔慰金は額面二十万円、十年償還（無利子）の記名国債で交付されます。国債の発行日は五十年十月一日で、一回目の償還は五十年六月十五日です。

### 募集 サッカースクール会員募集

少年たちの余暇の善用と、身の練習、正しいサッカーの基礎技術の習得を——。南部につづいて市内北部でもサッカースクールの開かれています。

▼対象：市内の小学校二年〜六年の少年  
▼会費：毎月五百円（入会時に四カ月分二千円を前納）  
▼練習：毎週日曜日、九時三十分

から正午まで、北陵中グラウンド。雨天の場合は体育館  
▼指導：南国市サッカー連盟  
▼服装：スクール指定のもの。  
▼この会にはいった人は、スポーツ傷害保険にはいることになりま。保険料は納めた会費の中から払われます。  
▼申込みは北陵中学校まで。